



—北アフリカ地域ニュース—

リビア：ロカビー事件服役囚の釈放・帰国

(8月22-23日付現地各紙報道)

8月20日夜にリビアへ帰国したメグラヒ服役囚は、8月21日夜、カッザーフィー指導者宅で指導者と面談した。同席でカダフィ指導者は、英国政府首脳他に対して次の要旨のメッセージを口頭で述べた。

1. スコットランドの友人たち、スコットランド国民党、スコットランド政府首相及び外相に対して、本メッセージを送り、彼らが勇敢で平和的、且つ人道的な決定を行ったことに敬意を表する。

スコットランドがこのような決定を行うように後押しをしたわが友ブラウン英国首相及び同国政府、並びにエリザベス女王陛下及びアンドリュー王子に対しては、本決定はリビア・英国関係及び自分と貴殿らの個人的関係に役する一歩であり、あらゆる分野での両国の協力に良好な関係を与えるであろうと述べたい。

2. そうでない者たちには、こう言いたい。先にリビアがブルガリア人看護師団に対する死刑判決を終身刑に変更し、サルコジ仏大統領からの要請に応じて、彼らが残る刑期をブルガリアで終えるように移送を行ったとき、ブルガリアは彼らが空港に降り立たないうちに恩赦を与え、ブルガリア大統領自身が400人もの子供をエイズ・ウイルスで殺害した彼らを英雄として出迎えた。EU会議も、彼らを英雄のように迎えた。このブルガリア人看護師団は、何故非難されないのか。

3. 残念なことに、メグラヒの釈放はロカビー事件犠牲者家族の気持ちを逆までするとの非論理的な声が高まっている。ロカビー事件の犠牲者の家族は人間で感情があるが、リビア人はロバで感情がないと言うのであろうか。そのように自分たちと他者との感情に軽重を付ける政策が欺瞞やテロリズムを生んでいるのである。